

新商品
紹介



この度、L.C.C. ういんぐ自主製品班から新商品エコロジカル着火剤『Fire Brownie～Sprout（ファイア・ブラウニー・スプラウト）』が誕生しました！玉湯町の薪ストーブ専門店 rustic craft さんとのコラボ。薪作りの際に出るおがくずと廃口ウソクで、まるでお菓子のような見た目の着火剤です。この製品に込めた想い…それは『Sprout～新しい芽吹き』。火のある暮らしを取り戻す芽吹き、森の恵みを必要な分だけ大切に使い切る自然環境の保護と循環を目指す芽吹き、そして、持ち得たものを活かし手間と時間をかけてコツコツと作りあげる私たちの新しい活動の芽吹きです。私たちの想いを込めた、あたたかな火の素。お求めの方は rustic craft 店頭もしくは、ういんぐまでご連絡下さい。
★50個入り **770円**(税込)

井上農産との共同生産について



今年度も春の田植えから秋の収穫まで、井上農産さんと一緒にお米作りの作業をしました。この協働も2年目、皆さん昨年よりも上手に色々なことを取り組まれ、笑顔も多くやりがいを持って頂いていると感じます。持田公民館のイベントで今年とれた新米を販売。道の駅本庄など近隣店舗にも置かせて頂いています。また、昨年は3名の利用者さんが草刈機の講習を受けられ、作業の幅が広がりました。新米のご注文、草刈りなどのご依頼があれば、ぜひL.C.C. ういんぐまで！(0852-24-8871 担当：山崎)

「Facebook」や「マチコミ」では、日常の様々な活動や情報がご覧いただけます。



千鳥福祉会ホームページ
URL <http://www.tidori.org/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp

苦情や要望の受付・解決への取り組み報告
(令和3年10月～11月)

標記期間中に苦情の申し立てはありませんでした。今後も真摯に対応していきたいと考えますのでお気軽にお申し付けください。なお、法人内、各事業所の苦情受付窓口以外に下記にご相談頂くこともできます。

千鳥福祉会苦情解決第三者委員
京 俊輔 氏 (鳥根大学人間科学部 准教授) TEL0852-32-6239
足立 孝子 氏 (鳥根大学人間科学部 助教) TEL0852-32-9051
鳥根県施設運営適正化委員会 TEL0852-32-5913

利用者みなさんの「声」受け付け報告
(令和3年10月～11月)

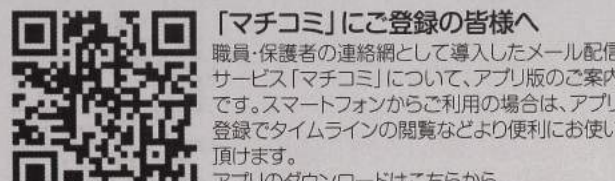
当法人では、利用者みなさんから上がるいろいろな相談、その「声」に耳を傾け、利用者みなさんの立場に立った支援をしていきたいと考えています。各事業所がそれぞれに工夫して「声」に耳を傾け、相談に応じていきたいと思っております。

	利用者みなさまより	ご家族みなさまより (世話人含む)
持田寮	16	3
ういんぐ	50	3
フレンド	12	0
ぼすてる・ぼすてるびいす	21	4
共同生活	10	1
大空	20	3



空気清浄機導入を **ありがとうございます**
助成頂きました！

このたび公益財団法人JKAの競輪補助金(新型コロナウイルス感染症の拡大防止策に対する緊急支援事業)を頂き、持田寮各居室に加湿空気清浄機を15台、L.C.C. ういんぐ食堂に空気循環式紫外線空気清浄機を1台導入致しました。基本的な予防対策とあわせて設備導入により、皆様が少しでも安心して過ごせる環境づくりに努めたいと思っております。助成を頂き誠にありがとうございました。



「マチコミ」にご登録の皆様へ
職員・保護者の連絡網として導入したメール配信サービス「マチコミ」について、アプリ版のご案内です。スマートフォンからご利用の場合は、アプリ登録でタイムラインの閲覧などより便利にお使い頂けます。アプリのダウンロードはこちらから。<※もしくは各ストアから「マチコミ」で検索。>詳細は各事業所の情報発信委員までお気軽にお問い合わせください。



つなご

〒690-0814 松江市東持田町1415
社会福祉法人 千鳥福祉会
TEL0852-24-8820(代)FAX0852-24-8825
障がい者支援施設 持田寮
多機能型事業所 L.C.C.ういんぐ
ワーカーセンターフレンド
共同生活援助事業所つばきの里
居宅介護等事業所千鳥福祉会ケアセンター大空
相談支援事業所 ひまわり
放課後等デイサービスぼすてるびいす
URL <http://www.tidori.org/>
E-mail chidorifukushikai@luck.ocn.ne.jp



※ういんぐ新商品製作メンバー



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。誰もが今年こそは良い年に、と抱負を持ちながら、明るい話題ばかりではないのが世の常。withコロナの暮らしは3年目を迎えました。合わせて昨年は、地球温暖化の課題も待たなし、との報道もよく耳にしました。そうしたご時世の中、よく聞くようになったのがSDGs。2015年9月の国連サミットで採択された持続可能な開発のための17の国際目標。全て暗記しておくことは難しいのですが、
①People(人間生活)②Prosperity(豊かさ)③Planet(地球環境)
④Peace(平和)⑤Partnership(協働・パートナーシップ)——5つのPで整理すると、一見バラバラに見える17の目標が、全てが繋がっていることが見えてきます。
SDGsはグローバルな課題解決を図る取り組みです。普段の私たちの仕事と繋がっているとはイメージしにくい。しかし、じっくり考えてみると①②③の一部は目の前にいる人の支援において、少しずつでも取り組みをしているように思えます。隣にいる人のため、身近な地域のためにできることは小さくてもあるのです。
昨年、長くプライベートで顧客と業者さんの間柄にあった方との関係に変化がありました。思い付きでしたが、ういんぐの自主製品開発でコラボできないかお願いし、製品化できました。実はこれ、5つのPの③の要素を含んだ新たな取り組みです。(詳しくは裏面をご覧ください。)いつもの関係性の中から一歩踏み出し、相手の方の領域に関心を寄せ、話を聞かせてもらう。普段にない考えが生まれ、行動に繋がる。そこには今までとは違った世界が待っているかもしれません。
福祉は身近にいる人へ関心を寄せることから始まる仕事です。コミュニケーションを取り、様々なパートナーシップの形を考えてみる。「誰一人置き去りにしない」SDGsのスローガンと共通するように思います。
私たちは、誰だって、何時だって、明るい未来を願っています。皆様にとっても、今年一年がより良い年になりますように。

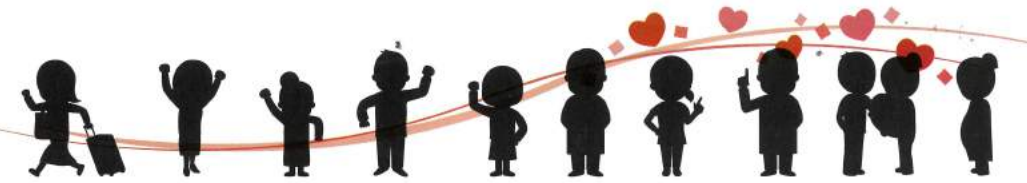
- 編集/情報発信委員会
- ・江指 裕嗣
 - ・中濱萌乃夏
 - ・森廣 奈未
 - ・竹内 朋宏
 - ・三原 恵美
 - ・谷口もも香
 - ・日野 裕美
 - ・植尾 佳代

つなごりを深める新年に……

千鳥福祉会
総務部次長 江指裕嗣

秋冬の行事報告

SEARCH 🔍



忘年会

L.C.C. ういんぐ 忘年会 2021

12月下旬、介護系3班と就労系で班を分け4日間かけて、センターひまわりにて忘年会を開催しました。各班、趣向を凝らしたゲームや出し物、創作などの企画を実施。今年1年、遠足や旅行などの行事が中止となり、残念な思いもありましたが、忘年会では利用者様も職員も笑顔が絶えない楽しい時間となりました。無事に開催できましたことを嬉しく思います。(L.C.C. ういんぐ・深石)



クリスマス会

ぱすてる・ぴいす×持田寮 クリスマス会

ぱすてる・ぱすてるぴいすは12月24日、持田寮のクリスマス会にお邪魔しました。

突然のアマビエ登場にみんな目が点！最初は少し緊張していた児童さんも、指人形や、アマビエと利用者さんのかけ合いで笑顔に。ぴいすの皆さんは嵐の手洗い歌など一緒にパフォーマンス。大人の人たちの優しさに包まれた、素敵な時間を過ごさせて頂きました。

翌25日は、ぱすてるとぴいすの合同クリスマス会。午前中はみんなで準備。ぱすてるとは折り紙で作ったガーランドを会場にかわいく飾り付け。ぴいすはジェスチャークイズの問題を考えたり、プログラム作りやクリスマスカード作り。午後からの会本番には、サマーフェスタや芋ほりでお世話になっている斎藤様扮するサンタさんが登場し、とても楽しく和やかな時間になりました。はじめ・おわりのあいさつも担当者が自分で考えられ、成長されていく姿に頼もしさも…。

予断を許さぬ状況が続きますが、今まで以上の感染症予防に努めながら、今後もこうした交流の場もてるよう工夫していきたいと思っております。(ぱすてる・松尾)



日帰り旅行

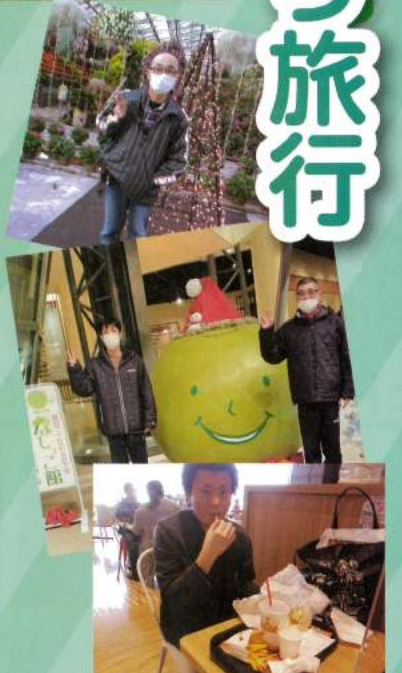
持田寮 秋の日帰り旅行

三瓶サヒメル記念館へ少人数に分かれて行き、色づく紅葉を見ながら食事を堪能、プラネタリウムや恐竜の化石を観たりと、久しぶりの遠出に皆さん弾んでおられ、楽しい旅行となりました。(持田寮・中濱)

フレンド 日帰り旅行

フレンドの日帰り旅行は11月に4班に分け、感染症禍でもあり様子を見ながらの日程構成となりました。豪華な食事、施設見学、ドラゴンメイズなど、各班独自のコースで実施。皆さん楽しんで頂けたようで、「忙しいクリーニング作業の息抜きになった」などの感想を頂きました。

(ワークセンターフレンド・竹内)



成人 近藤悠介さん



成人 池内良太郎さん



還暦 安部美穂さん



還暦 井上喜美子さん

祝！成人・還暦



年末年始の様子

持田寮・共同生活 年末年始の過ごし方

持田寮は毎年恒例の初釜。和菓子と抹茶を楽しみながら、各々新年の抱負も発表。書初めでは書道有段者の職員から書き方を教わり、自由に書いて頂きました。

GHでは、全員集まることこそできませんでしたが、各ホームで初釜、書初め、絵馬作りといった行事を楽しんだり、食事にはおせち料理を取り入れたり、正月らしい気分を味わって過ごされました。

コロナ禍における持田寮入所支援の今

令和2年から今なお続く感染症流行。昨年11月頃にはワクチンもある程度行き渡ったことで一旦収束かと思われましたが、すぐにオミクロン株の発生による新たな波が到来。未だ落ち着くことのない中、利用者の皆さんのお楽しみを「コロナだから出来ない」で終わらせず、支援者のアイデアを結集し、日々努めているところです。

外出はマンツーマン、もしくは5名以下で実施。マスクが苦手な方も多いため、検温、消毒を必ず行い出掛けます。ドライブは、トイレ休憩以外は車内で過ごして頂いています。

外食の代わりに月1回、給食ではなく、地域のお弁当屋さんから好きなものを注文する「お弁当の日」を皆さん楽しみにしておられます。昨秋は日帰り旅行や、持田公民館のやすらぎ喫茶へのお出かけも再開。2年度からの秋まつり、恒例のクリスマス会などは、寮内実施ではあるものの随所に工夫が凝らされ、利用者様、職員とも大いに楽しみました。

コロナ禍のような状況であっても支援の質を落とさない。利用者様のニーズを受け止め、ご満足頂けるような「暮らしの場」をつくっていく。そのために守るべきもの、変えられるものを職員皆で考えながら、今後も真摯に取り組んでまいります。

(持田寮 施設長 松浦 和志)



コロナ禍の今